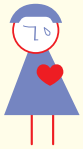
2014年12月 No.94

そっと道はあると思うから



仙台いのちの電話

相談電話　022(718)4343
インターネット相談 http://www.inochinodenwa-net.jp/
いのちの電話ネット相談　検索

24時間受信
年中無休

コキアの花言葉「私はあなたに打ち明けます」

夢見る力

秋葉　良子

古来人々は夢の不思議な力に関心をよせ、時に神託とされることもあり、今も夢占いなどに興味を持つ人はいるようだが、心理学的には無意識やイマジネーションの表れとしてとらえられている。私の夢への関心はこのところによるものである。

夢は目覚めた途端に蒸発してしまうことも多いのだが、ドリームワークというやり方で長年夢を取り扱ってきたわたしは見た夢はなるべく書き留めておくようにしている。慌しく朝の支度を始めたりすると夢の詳細は直ぐにどこかに消えてしまうから、書いて繋ぎとめておくのである。

何年か前、「夢見る力」という焼酎が手に入った。夢ノートに何にも書けない日が一年以上続いていたころのことである。それだけ現実が大変で、夢にかかわる余裕のない日々にさみしさや虚しさを感じていたので、夢見る力と書かれたラベルを指でなぞって慰められ温められた思いがしたことを思い出す。

また、将来実現させたいと心の中に思い描いている願いや願望のことを夢と言うが、何か新たなものが生み出される時、その始まりは、誰かがそのことを夢見、実現を望んだということにあるのではないだろうか。各地のいのちの電話の設立に際しても、この地にも眠らぬダイアルをと夢見て、実際に行動し多くの労を取ってくださった方々がいたことを覚える。その方々の夢見る力と実践していく力があったからこそ生まれ、続いてきた活動である。

その活動に加わり継いで行く者として夢見る力と実践する力を同時に求められているなあ、と手つかずのままの壜のラベルをなぞりながら思っている。

（仙台いのちの電話　専門ボランティア）

心の診療所から No.2

“発達障碍（しょうがい）って何だろう？”

仙台いのちの電話　専門ボランティア（精神科医）　**千葉　健**

診療所を訪れたＡ君。保育園で思う様にならないと物を投げ外へ飛び出し、小学校に上がっても嫌になると教室の外へ出る。宿題も言わないとやらず、友達と口論して注意されると怒って、死んでやると泣き叫んだそうです。漢字は好きだが、読み書きを嫌い、誤りが目立ちました。発育経過に問題はありませんでしたが、不器用さもあり近医を受診したが正常と言われました。母親が来所した後で本人が受診に応じると、心理士が気に入り遊戯療法を始めました。半年経ち、「病気でないのに何故薬を飲むの？」と拒み続けた薬をようやく受け入れて服薬するとかなり落ち着いて授業を受けるようになりました。

サインが出ていても、入学して、或いは高学年になって、時に就労した後に初めて周囲が気付くのです。或る年齢で明確化するけれど過去に遡っても発病時期を特定できなかったり、この子のように病気ではないと周囲に思われます。問題行動の独自性が目立つため相談機関や病院を受診しますが、診断名が直ぐにつかないこともあります。というのも、その特徴は医学で言う先天性、後天性（器質的変化）、精神病的（機能的変化）なもの、ストレスに対する心の葛藤（心理的負荷）や、生まれながらの性格、のどれにも属さないからです。

原因は脳に実証可能な障碍を持つ器質性と、未知の機能性の変化の間と言うか、その両者を含む、未だ曖昧ながら何らかの脳の発達障碍に基づく初期学習の困難な状態と看做されます。けっして親の不適切な養育ではありません。生まれながらの脳機能障碍が発達全体に影響を及ぼした結果、対人関係が上手くできない状態なのです。

症状が（独りよがりや不注意等）特異なため病気として理解され難い傾向があります。高い知能を持ちながらロボットタイプで、周りからの注意や指導に短期間では容易に修正がきかないのです。

サポートは、この障碍がきっかけで加わる二次的な落ち込みやこだわり等の多彩な症状が対象となります。**3 年前の災害時**、学校や家での理解と見守りが行き届かない環境では特に、彼らの症状が強くなり、4 年目を迎えた今も、未だみられます。本人への支援は幼児期から学童期が主体ですが、成人以降まで必要です。その為、病気を理解し、家族や社会との橋渡しをしてくれる主治医を持つことがとても大事です。

すみれ便り No.2

悲しみの色

すみれの会は月二回、第一土曜日と第三水曜日に行われています。

すみれの会が始まった頃、参加者は分かれていませんでした。しかし、回を重ねる内に様々な疑問が湧いてきました。亡くなった方との関わりのあり方によって、喪失感の色合いが異なっているのではないか。その違いは参加者同士の間に戸惑いや配慮、遠慮を生む。これは参加者が心からのわかちあいを行うことの妨げになるのではないか。全ての参加者にとって安全で自然なわかちあいができるのか。私たちは、参加者との体験を通して模索を続けました。

友を失った時、人はその人と共に生きた時間そのものを失ったと感じます。失ったのはその人と共に歩んできた人生の旅の大切な記憶、届かなかった友への気持ち。それは嵐のように心を揺さぶり、吹き抜けます。

家族は、自分とその人の命の始まりと終わりを共有する関係です。親を失った子は心のふるさとと自分の命の起源を。子を失った親は自分の夢と希望、未来を。兄弟姉妹を失った人は自らの分身、共に生きる命を。配偶者を失った人は自らの存在を証する相手、愛を与え合い、共に命を見守る存在を失います。自分自身の身の内に喪失そのものが大きな空洞としてあるということです。

わかちあいの会ではこの事に関し大きな配慮と、注意深い関わり方が求められることを、参加してくださった方々との体験を通して学ばせていただきました。

Topics

宮城県自死遺族支援連絡会シンポジウム開催

～自死という言葉を知っていますか？～

9月20日に仙台市シルバーセンターにて掲題のテーマで宮城県自死遺族支援連絡会シンポジウムが開催されました。

コーディネーター：寺島英弥（河北新報）、土井浩之（弁護士）
シンポジスト　　：田中幸子（藍の会代表）、前川珠子（東北希望の会代表）
田中眸子（仙台いのちの電話常務理事）
滑川明男（仙台グリーフケア研究会理事長）
石川浩之（仙台市障害者支援課長）

今年、宮城県と仙台市*1)は、他の自治体に先駆けて遺族の方々の心情に配慮し、公文書などで「自殺」という表現を「自死」に言い換えることを決めました*2)。6年に渡る全国規模のマスコミへの依頼活動により「自死」への言い換えがようやく実現したものと藍の会から説明されました。続いて、「藍の会」は自死遺族を、「東北希望の会」は過労死（過労起因の自死含む）の遺族を、「グリーフケア研」は自死を含む遺族を、それぞれ支援する活動を紹介しました。「仙台いのちの電話」は電話による支えと自死遺族への支援の二面での活動を説明しました。また、多くの参加者からこの活動を前進させるための忌憚のない意見交換もありました。

「自死」への言い換えへの動きは始まったばかりです。多くの人たちが、今回のシンポジウムのような機会をとらえて、「自死」への言い換えの持つ意味を考えることにより差別防止*3)と支援活動への理解を深めていく必要があるのでしょう。

＊1）全国で宮城県が3番目、仙台市が4番目にこの言い換えを決めた自治体です。
＊2）仙台市の例では、言い換えのガイドラインが定められています。
＊3）例えば、賃貸不動産で自死による不幸が生じた場合に非常識なリフォーム代や家賃保障を遺族が請求されたケース。

想い

転機 Ⅰ＆Ⅱ

職を辞することになり、所謂、定年惚けや、濡れ落ち葉状態は避けたく、何か、社会のお役にたちたく、自分に出来る事は、何だろうと考えていました。流通経済が、日本経済を大きく変え、私が担っていた卸売業、小売業が、音を立てて崩壊し始めました。得意先の中には、倒産や、廃業が相次ぎ、経営者の中には、自死を選び、一気に清算しようとした痛ましいケースまで起きました。事業の縮小、撤収等々、膝詰め談判の再建策の中で、「負け犬感」や「惨めさ」だけは、払拭させてあげようと、少しでも、手助けが出来ればと思うようになりました。それで、「いのちの電話」の相談員養成講座を受ける事にしましたが、その年の募集期間が過ぎており、一年待つことになりました。相談員デビュー後は、淡々と月二回の責務をこなしておりました。ところが3月11日の大震災で、日本人の皆に「絆」が出来たのと同様に、私にも「転機 Ⅱ」が来ました。話を聴いて欲しいコーラーさんがいる限り、出来る限り聴いてあげようと、相談に入る回数を増やしています。コーラーさんの、「お話し出来て良かった」という言葉を糧に、時間の空いてる限りブースに入り続けたいと思います。（H・S）

今私は…

いのちの電話に携わらせていただき32年が経ちました。改めて驚いている自分があります。今回、その年月を振り返ってみる機会を与えていただきましたことに感謝しています。

流れる川のように、いろいろな事が過ぎていったようです。そして、今もその流れの中に私はいます。

その中で大きく胸に刻まれている一言があります。それは亡くなられた甲原一先生の言葉です。養成講座の時でしたので特に印象に残っているのだと思います。「今、あなたは何を考えていますか」という問いかけでした。そんな事、思いも考えもしなかった言葉です。大げさかもしれませんが、それだけに強烈で新鮮な言葉でした。立ち止まらされ、突きつけられた思いでした。

32年経った今問われれば、“そうですね、時折立ち止まっている自分はあります。相手と同じ目線で正直に向き合うことの大切さも教えていただきました。まだまだ未熟な自分を認めながら続けていけたらいいなと思っています”

家族の協力の大切さも改めて感じています。尊敬と感謝を込めて。（Y・T）

支えられて30年

1984 年仙台いのちの電話後援会が発足しました。それは 1982 年に始まった「仙台いのちの電話」が法人として社会的に認知を得た年でもありました。今年は 30 年の節目の年。新しい時代に向けた、今年度の後援会主催事業２つを報告します。

いのでんマルシェ

東日本大震災からちょうど３年７ケ月の 10 月 11 日（土）に、藤崎サンモール一番町側にて「いのでんマルシェ」が開催されました。

いのでんマルシェリーフレット

マルシェ企画の願いは３つ。

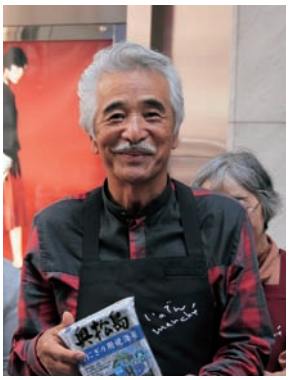
〇仙台いのちの電話にもっと親しみをもってもらおう。
〇そして、“相談すること”“後援会員になること”“相談員になること”も身近な事に感じてもらおう。
〇マルシェでのお買い物を楽しんでいただきながら、仙台いのちの電話も支えてもらおう。

“いのちの電話”を縮めて“いのでん”。

左から、デザイナー佐藤和子さん
飯岡智理事長　大山照江後援会会長

軽く明るい響きをもつ新たなネーミングのもとにスタートした新企画。初マルシェのリポートです。

当日は秋の３連休の初日。“みちのく YOSAKOI 祭り”も開催された、暖かく穏やかな秋晴れの日でした。さまざまな企業から寄せられた心のこもった商品の数々にお求めやすい値札をつけ、ワゴンにきれいに並べ、たくさんのお花の鉢もディスプレー完了。後援会の皆さんは揃いの「いのでんオリジナルエプロン」を身につけてのスタートです。


青葉城恋歌のさとう宗幸さん、いきなり参加！

開始からお客様がぞくぞくいらっしゃいました。

マルシェの前を歩いてみました。若いカップル、赤ちゃん連れの方、ご家族みんなで、あらゆる年齢層の方々が途切れることなく訪れています。

アメリカ製のベビー服をたくさん買っているお母さん。石巻の地酒「日高見」に“おっ！”と小さな感嘆詞を声にして買い求めた若者。会社に飾るからとお花の鉢をたくさん買っている人もいました。

デザイナーの佐藤和子さんによる粗品引換券付きリーフレットを手渡しながら、お買い上げのお客様ひとりひとりにご協力のお礼を伝えます。

マルシェには商品の販売だけではなく「いのちの電話」の案内ブースやプレゼント抽選コーナーも設けられました。お買い上げくださった方全員がスピードくじを引けます。「当たったよっ！」と嬉しそう

「はい、あたり!!」「ありがとう！」

↗

な笑顔。ローリエ、ポプリ、レッドペッパー、どれを選ぼうかな、とワクワクの笑顔。うんうん、当たると嬉しいですよね。

お気に入りの色の毛糸を好きな量だけ買える「糸巻きコーナー」もあります。自分のための小さな毛糸玉のできあがり。見ているだけで、なんだか幸せな気持ちになります。

糸巻き

終始和やかな雰囲気の中で、あっという間の４時間。素敵な品物をお寄せ下さった方の気持ち。品物を通して交わされる売り手（後援会の方達）とお客様との楽しい会話。「本物のマルシェの様ですね」という声や「来年はいつ開催するの？」という声も。「しあわせのおすそわけ…」リーフレットに書いてあった言葉がまさしく此処にありました。

“いのでん”をいつでもあなたの身近に。後援会の願いがあふれたマルシェでした。（Y・H）

○協賛企業（順不同）
アイリスオーヤマ／青葉画荘／㈱青葉ガーデン／一乃庵／米工房いわい／鹿島台・田尻いのでんマルシェ協力会／サンモール一番町商店街振興組合／㈱清月記／クラフトショップもくもくハウス／東北観葉㈱／常盤洋紙㈱／㈱平孝酒造／㈱藤崎／もくもくハウス仙台店／㈱仙台三越／ホシヤマ珈琲店／六甲バター㈱東北営業所／三菱鉛筆東北販売㈱／ニコニコのり㈱仙台店

○法人寄附額　433,543 円

チャリティコンサート

毎年９月最後の金曜日に開催されるコンサート。今年は兄弟ピアノデュオ“レ・フレール”を迎えてのコンサートでした。

アーティストの招聘にあたっては、魅力ある演奏者であることは勿論のこと、「いのちの電話」の活動に理解と共感を示してくれることを第一の条件に検討されています。今回のレ・フレールも、自身の音楽活動に確たるポリシーをもって臨んでいるアーティストであり“どんな状況下でも全ての人に音楽を”という姿勢がその活動には貫かれ、被災地でも演奏をしてきた彼らは、実感をもって被災地の状況とその中で活動する「仙台いのちの電話」への共感を示してくれました。

当日のコンサートには、まさに彼らのポリシー通り、０歳の赤ちゃんから小中高生、80 歳を越える人生のベテランまで、まさに世代を超える聴衆が集まり、レ・フレールの音楽に共に酔いしれました。

美しい音色と旋律が心に染み入る曲、エネルギー全開のパワフルな曲、そしてほんわかとした兄弟トークなど多彩なステージ展開に引きつけられ、最後は会場一体となるスタンディングオベーションでの終演となりました。

今回のコンサートにより後援会は約 260 万円を法人に寄附。いのでんマルシェと合わせて今年度末までの「仙台・石巻いのちの電話」運営費として活かされていきます。

○協力団体（順不同）
アイリスプラザ／入間／㈱青葉ガーデン／㈱ITK／一乃庵／㈱インターオプチカル／㈱菓匠三全／活牛寺／㈲ギアール・サービス／米工房いわい／㈱コンピュータシステム研究所／㈱清月記／㈱正大みぶな／仙台画像クリニック／㈱セント／東光電気工事㈱／千葉神経科・内科クリニック／㈻東北学院／ファミーユ／㈱深野プロ／ホシヤマ珈琲店／宮城文化服装専門学校／やながわ歯科／ライオン㈱

公開講座

石巻分室開設を記念し、前号で紹介しました鎌田實先生の講演会に続き、６月と７月に二つの講座を登米市と東松島市で開催しました。 講座を受けてどんなことを思い感じ取ったのか、参加者の感想を通して、その内容の一端を紹介します。

「心サポート講座」

宮城教育大学　教授　**佐藤　静** 先生

６月28日に、登米市社会福祉協議会との共催で開催されました。当日の参加者は180名、登米市の布施市長も熱心に講演に耳を傾け、たくさんの参加者からも好評を得ました。

自分の心の状態を見つめなおし、家族や周りの方々との関係を振り返りながら、多くの参加者から前向きな感想を寄せていただきました。

～参加者の感想から～

○挨拶、声掛け、身近な会話からサポートが始まるのだということを改めて感じました。
○誰しもが心が疲れることを体験しているので、自分に置きかえて聞くことができました。ホームページや広報に、このような講演会の話がワンポイント的にアップされると、更に心に対する理解が広がるのではないかと思いました。
○自分の心のもち方、他の人を支えるということ、あたりまえのつながりのある暮らし。いろいろ考えさせられました。
○最近環境がものすごく変わった自分にとって、良く分かる講演でした。前向きになれるような気がします。こころが支えられるというのは、とても大事なことだと思いました。

自らの心の健康を保ちながら、心の支援を必要としている人の支えになりたい、そんな参加者の思いが強く伝わってくるようです。

「あなたでも支えられる、心の痛み」

仙台いのちの電話　理事　**出村　和子** 先生

７月13日に、東松島市のコミュニティセンターを会場に開催されました。

参加者は、24名でした。和やかな雰囲気の中でのワークショップとなりました。

～参加者の感想から～

○出村先生の日常や個人的経験も交えて、分かり易く、親しみ易くお話いただき、改めて「よく聴く」ことの大切さが分かりました。新しい人との出会いもあり、楽しいひとときでした。
○３時間は長いかと思いましたが、あっという間でした。「あなたでもできる」という言葉に、改めて思うところがありました。シンプルに自分を見つめられる時間でした。
○あなたにもできる。「心に添い」「耳を傾け」「心の痛みを共に癒す」支える力となれる。そのように少しでも力になれるようにと思っています。
○「解決するのは本人、こちらが決めない」という先生の言葉にハッとしました。今後、仕事はもちろん、家庭でも、生活を見つめなおそうと思います。
○話を聞く側と話す側の信頼関係を築くために、自分の聞く姿勢などが大事であることが分かりました。ともすると、家族の中であまり会話やコミュニケーションが足りなかったのではないかと思いました。また、心のケアのために家族や友人、近隣の地域の人間関係を大切にしなければならないと思いました。

傾聴の大切さを実感すると同時に、心の痛みを抱えている人のために、自分でもできることがある、とひとりひとりの心に小さな変化が生まれた講座でした。

特別研修会

「多数回通話者への対応」

臨床心理士　城西国際大学講師　**有田モト子** 先生

10月31日に相談員対象の特別研修会が開催されました。講義時間４時間という長さでしたが、参加者30名は最後まで非常に熱心に学んでいました。

始めに、有田先生から「何を学ぼうとしているのか」と投げかけられ、参加者自身の問題意識を掘り起し、それに先生が答える形で講義は進みました。

参加者からは、様々な事例と、相談員自身が抱える課題が出され、そのひとつひとつに、先生から具体的な助言、及び新しい視点での捉え方が示されました。

また、様々な事例の総括として、相談機関にかけてくる人が求めている「相談員との関係のもち方についての３つのタイプ」（米国の心理学者の分類）が紹介されました。

① またかけた。話を聴いてほしい。（ビジタータイプの関係）
② 苦情を言いたい。（コンプレイナントタイプの関係）
③ 問題解決を求めている。（カスタマータイプの関係）

かけ手がどのようなタイプの関係を求めているかを捉えておくことが相談者に役立つ聴き方、寄り添い方になるということを知ることができました。

講義全体を通して、先生の一言一言が参加者を大いに刺激し、今後の活動への意欲と相談員ひとりひとりの向上心が喚起されたように思います。（K・R）

資金ボランティア

2014年6月1日～10月31日受付［敬称略・順不同］

ありがとうございます。

皆様のご支援で24時間「仙台いのちの電話」はつながっています。

維持・賛助（個人）

相沢敦子
相沢光哉
青木利子
青木　譲
浅田百生
浅野弘毅
安住しげみ
新子一哉・元子
阿部恭一
阿部よし子
安藤幹郎
安部　仁
五十嵐栄子
石川千賀子
石田千恵子
石田由紀子
伊豆和子
泉川久美子
板橋登美
市川トヨ子
伊藤江里子
犬飼百合子
岩井紘子
岩松としゑ
岩本幸子
氏家幸子
薄木理一郎
宇津木えつ子
海老名せい子
遠藤　肇
大泉鉄之助
大田和子
大友幸一・玲子
大友幸子
大友孝子
大沼セツ子
大場なほ枝
大山正博
小笠原　暹
岡部ミナ子
加藤　勇
加藤光美
金子英次
兼為美佳子
鹿股英生
鎌田公子
菅野孝子
菅野多利雄・喜與
かんま　進
木村ひさ
葛岡恵美子
熊谷勝子
熊谷ひろみ
熊倉芳子
栗村貞子
小林博子
近藤文子
斉藤悦子
斎藤かづ子
斎藤　進
斎藤智恵
齊藤啓昭
斉藤夫美子
酒井髙男
さくまきよし
佐々木　宗
佐藤秋夫
佐藤有彦
佐藤和子
佐藤かち子
佐藤清子
佐藤　宏
佐藤牧人
佐藤ミエ
佐藤泰子
佐藤由利子
佐藤ヨシ子
佐藤頼子
更科　玲
柴田友子
清水英子
庄司きみ子
庄司あや子
庄子邦子
庄子さゆり
庄司紗世子
白井泰子
白石洋子
白川　充・由利枝
神　春美
新宮幸子
菅原えい
菅原直枝
菅原慶夫
鈴木光次郎
鈴木ハツヨ
鈴木博朗
鈴木　宏
鈴木優子
鈴木百合子
須田佐枝子
須藤きい
関　美和子
平　さき子
高井恭子
高森順子
竹内一郎
武田久美子
竹田英子
竹田啓二
竹田　隆
竹田登代子
多田昭子
舘　繁子
田苗沙也佳
田中　清
田中忠三
田中聆子
田野みよ
千葉雅保
出村　彰
出村和子
照井床子
冨田敏夫
中川恵子
中沢きく子
中沢幸男
中條洋子
長友周悟
成　泰三
畠山東平
早川二郎
原田　登
秀田育弘
平賀ノブ
平河内健治
深田　寛
深野せつ子
深谷松男・英子
藤岡彰子
藤沢英夫
星　曠夫
堀田洋子
堀米正子
本田十三男
本田登代子
松枝敦子
松田成子
松本幸子
三浦ひろ子
三塚浩一
宮内昭穂
宮腰　孝
宮崎てつ子
村上瑞穂
安田恒人
山口聖子
山路静子
山本淳子
山本美喜
湯村冨美子
吉田一彦
吉田淳子
若菜弘子
若生裕俊
若生芳子
渡辺あゆ子
渡部昌子
渡部光子
匿名4名

維持・賛助（団体）

(公財)アタラクシア　みやぎ霊園
明るい社会づくり運動
活牛寺
愚鈍院　青年会
愚鈍院　婦人会
光明寺
光洋産業(株)
国際ソロプチミスト宮城
米工房　いわい(有)いげた岩井
齋藤歯科医院
笹氣出版印刷(株)
(株)サトー商会
(株)サン・ベンディング東北
(株)ジー・アイ・ピー
(株)七十七銀行
松音寺
(株)清月記
全玖院
仙台瑞鳳ライオンズクラブ
仙台中央グリーンライオンズクラブ
(株)仙台放送
竹駒神社
千葉神経科内科クリニック
東北電力(株)
徳泉寺
ないとうクリニック
東日本興業(株)
東日本電信電話(株)宮城支店
松本事務機(株)
宮城県精神科病院協会
宮城県民共済生活協同組合
みやぎ生活協同組合
(株)ユアテック
陽雲寺
龍華院　大宮司
瀧澤寺
林香院
林香院　座禅会
(宗)輪王寺

一般寄附・その他（個人）

有田モト子
佐々木勝彦　しのぶ
佐藤和美
田中聆子
西川良三
日野　哲・つね子
匿名1名

一般寄附・その他（団体）

(株)厚栄社(河北新報社上期寄託金)
(株)ジー・アイ・ピー
聖ドミニコ修道会　中島丁修道院
広瀬川倶楽部

チャリティ自販機

(学法)東北学院
(学法)宮城学院女子大学

会場募金箱

いのでんマルシェ
チャリティコンサート

日　誌

7月　5日～6日　相談員一泊研修会
　　13日　公開講座　講師：出村和子氏
　　30名（東松島コミュニティーセンター）
8月　2日～3日　研修担当者研修会
9月　20日　自死遺族支援団体合同シンポジウム（シルバーセンター）
　　30日　第39期認定式
10月7日　第41期相談員養成講座仙台開講式
　　9日　第41期相談員養成講座石巻開講式
　　18日　第7回ネット相談員養成講座開講式
　　19日　リフレッシュ研修
　　21日　石巻分室移転
　　31日　特別研修会　講師：有田モト子氏
11月　12日　理事会・評議員会
13日～15日　いのちの電話相談員全国研修会（群馬）
29日～30日　研修担当者研修会

✲自死遺族支援「すみれの会」月2回　第1土曜日　第3水曜日
✲「自殺予防いのちの電話」毎月10日実施（24時間フリーダイヤル）
✲無料法律相談とこころの無料相談会（仙台市委託事業）月1回
✲定例会議（毎月）　常務会　運営委員会　研修委員会　専門ボランティア会
　ボランティアリーダー会　グループ代表者会
✲随時開催　研修企画会　調査研究会　広報委員会　養成研修部会
✲後援会関連（随時開催）　後援会役員会　チャリティコンサート実行委員会
　いのでんマルシェ打ち合わせ会

仙台いのちの電話 公開講演会のお知らせ

心がフッと軽くなる 瞬間の心理学

2015年1月31日(土) 13:30～15:00
講師　名越 康文氏（精神科医）
会場　仙台シルバーセンター 交流ホール
定員　300名（参加費無料）

「生きること　愛すること」

2014年12月13日(土) 13:30～15:00
講師　大石 邦子氏（エッセイスト・会津在住）
会場　仙台市福祉プラザ ふれあいホール
定員　300名（参加費無料）

お問合わせ お申込み

社会福祉法人 仙台いのちの電話事務局
電話 022-718-4401　FAX 022-718-4431

（ホームページからも申込み可）
仙台いのちの電話　検索

仙台いのちの電話

無料個別面談会のご案内

法律相談&心の相談
～この機会をご利用ください～

2014年12月13日(土) 13:30～16:30
会　　場　仙台市福祉プラザ 第2研修室（10F）
面談対応者　弁護士、カウンセラー
予 約 先　仙台いのちの電話事務局　TEL022-718-4401

毎月11日イオン富谷店に、「仙台いのちの電話」のBOXが設置されます。
お買い物の際はレシートをBOXへ入れて下さい。
レシート合計額の1％が法人に寄附されます。

編集後記

第94号をお届けします。年2回7月と12月の発行です。今号の内容は「各種講演会・研修会報告」「想い」等に加えて今年30年を迎えた「いのちの電話後援会」を特集しました。お寄せいただいた原稿から、皆様の熱い想いを伝えることができたら嬉しいです。

年末にあたり、今年もいのちの電話を支えてくださっている全ての皆様に、心から感謝いたします。有難うございました。（M・M）

社会福祉法人 仙台いのちの電話
事務局 〒981-8691 郵便事業㈱仙台北支店 私書箱26号
http://www6.ocn.ne.jp/~sen/

発行人　飯岡　智
編　集　仙台いのちの電話広報委員会　Tel.022-718-4401
印　刷　株式会社 東北堂　Tel.022-245-0229